

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2023年第5週
(1月30日～2月5日)

- * 2023年2月8日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「小児の原因不明の重症肝炎について」も掲載しています。

令和5年(2023年)2月9日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2023年5週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		2週	3週	4週	5週	年累計	5週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	26	20	35	36	130	179	940
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢							1
	腸管出血性大腸菌感染症	1		6	1	12	13	94
	腸チフス						2	5
	パラチフス						1	1
四類	E型肝炎	6	4	4	1	19	6	50
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1	1	2	2	6
	エキノコックス症							1
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘		1	5	2	8	2	10
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}						1	2
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
つつが虫病					2		34	
デング熱							4	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		2週	3週	4週	5週	年累計	5週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	5
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1			2		2
	野兎病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
類鼻疽								
レジオネラ症	3	3	2	2	10	13	126	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

2023/2/8集計

(全数把握対象疾患のコメント:一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 36件 患者 24件(肺結核 20件、その他の結核 2件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 12件、年齢は5歳未満 1件、5～9歳 1件、20代 2件、30代 1件、40代 2件、50代 2件、60代 7件、70代 7件、80代 8件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 26件、ネパール 1件、ベトナム 1件、不明 8件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者 1件、血清型・毒素型はO26 VT2、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者 1件、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

A型肝炎 1件 患者 1件、年齢は90歳以上、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染、A型肝炎ワクチン接種歴は不明であった。

サル痘 2件 年齢は30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件であった。

レジオネラ症 2件 病型は肺炎型 1件、無症状病原体保有者 1件、年齢は80代 2件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 1件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 病型は腸管 2件、年齢は30代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4件 病原菌はEnterobacter cloacae 1件、Klebsiella aerogenes 3件、年齢は60代 1件、70代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は以前からの保菌 3件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴はすべて無しであった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2023年5週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		2週	3週	4週	5週	年累計	5週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢				2	2	10	35
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		3			3	2	11
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5	1	9	4	24	27	148
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1				1	1	1	5
	急性脳炎 *2	1		1	1	5	5	42
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		1		10
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	1	3	1	13	10	84
	後天性免疫不全症候群	6	5	5	5	25	13	65
	ジアルジア症		1			1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2				2	1	26
	侵襲性髄膜炎菌感染症							2
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	4	5	1	19	19	166
	水痘(入院例に限る)		1	1	1	3	4	14
	先天性風しん症候群							
	梅毒	57	82	76	79	329	185	1,113
	播種性クリプトコックス症		2	3		5	3	18
	破傷風						3	6
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							11
百日咳	1		1	2	4	9	44	
風しん								
麻しん								
薬剤耐性アシネトバクター感染症							1	

2023/2/8集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

急性弛緩性麻痺 1件 病原体不明、年齢は5～9歳、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ポリオ含有ワクチン接種歴は4回接種済みであった。

急性脳炎 1件 病原体はSARS-CoV-2、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 血清群はG群、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

後天性免疫不全症候群 5件 AIDS 3件、無症候キャリア 2件、性別は男性 4件、女性 1件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 1件、60代 1件、無症候キャリアの年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 3件、異性間 1件)、不明 1件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 1件 血清型は検査未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、肺炎球菌ワクチン接種歴は不明であった。

水痘(入院例) 1件 臨床診断例 1件、年齢は40代、推定感染地はインド、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、水痘ワクチン接種歴は無しであった。

梅毒 79件 患者 48件(早期顕症梅毒Ⅰ期 24件、早期顕症梅毒Ⅱ期 24件)、無症候梅毒 31件、性別は男性 55件、女性 24件、年齢は20代 29件、30代 16件、40代 19件、50代 9件、60代 4件、80代 2件、推定感染地は国内 73件、不明 6件、推定感染経路は性的接触 76件(同性間性的接触 21件、異性間性的接触 49件、性別不明性的接触 6件)、不明 3件であった。

百日咳 2件 年齢は5歳未満 1件、60代 1件、推定感染地は不明 2件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 1件、不明 1件であった。

※ 2022年第4週該当分として報告のあった〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件は削除された。

※ 第3週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件の追加報告があった。

※ 第4週該当分として〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件、梅毒 5件、百日咳 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2023年5週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2023年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		2週	3週	4週	5週		
小児科	RSウイルス感染症	21 0.08	32 0.12	15 0.06	46 0.18	260	264
	咽頭結膜熱	15 0.06	19 0.07	23 0.09	22 0.08		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39 0.15	64 0.25	59 0.23	62 0.24		
	感染性胃腸炎	2,167 8.30	2,780 10.65	2,337 8.95	2,269 8.73		
	水痘	18 0.07	22 0.08	23 0.09	22 0.08		
	手足口病	9 0.03	8 0.03	6 0.02	12 0.05		
	伝染性紅斑	4 0.02	1 0.00	1 0.00	2 0.01		
	突発性発しん	68 0.26	60 0.23	62 0.24	62 0.24		
	ヘルパンギーナ	1 0.00	8 0.03	2 0.01	3 0.01		
	流行性耳下腺炎	7 0.03	6 0.02	11 0.04	11 0.04		
	川崎病 ^{*1}	1 0.00	7 0.03	3 0.01	3 0.01		
	不明発しん症 ^{*1}	4 0.02	5 0.02	6 0.02	4 0.02		
	インフル エンザ	インフルエンザ ^{*2}	2,174 5.30	3,518 8.50	3,790 9.15		
眼科	急性出血性結膜炎			1 0.03		38	39
	流行性角結膜炎	6 0.16	2 0.05	2 0.05	5 0.13		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}			2 0.08		25	25
	無菌性髄膜炎				1 0.04		
	マイコプラズマ肺炎	1 0.04			1 0.04		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)			1 0.04			
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}						
	インフルエンザ入院	13 0.52	12 0.48	18 0.72	13 0.52		
2023/2/8集計							

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの保健所別の患者報告数が31保健所中10保健所で注意報レベルを超え、保健所管内人口の合計は、東京都全体の38.91%となり注意報レベルに達しています。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2023年5週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	3			10				1			
6～11か月	3	2		105	1	1		12			
1歳	12	7	3	327		4		33	2		
2歳	7	6	8	293		5	1	12			1
3歳	5	2	3	284	2	1		1		1	1
4歳	2	2	8	238	2	1		3		3	1
5歳	2		7	213	5		1			2	
6歳	3	1	8	163	5						
7歳	2		5	110	2						
8歳	1	2	2	77	1					1	
9歳			6	57	1				1	1	
10～14歳	2		5	158	3					2	
15～19歳			1	22						1	
20～29歳	4		6	212							
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	46	22	62	2,269	22	12	2	62	3	11	3
先週比	31	-1	3	-68	-1	6	1		1		

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		12								2
6～11か月	1	15								
1歳	1	82								2
2歳	2	131								2
3歳		162								1
4歳		320								1
5歳		483								3
6歳		458								1
7歳		337								
8歳		286								
9歳		267								
10～14歳		819								1
15～19歳		121								
20～29歳		102		2		1				
30～39歳		181		2			1			
40～49歳		179		1						
50～59歳		49								
60～69歳		20								
70～79歳		6								
80歳以上		3								
合計	4	4,033		5		1	1			13
先週比	-2	243	-1	3	-2	1	1	-1		-5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2023年5週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				3.00							
中央区				6.00							
みなと		0.50	0.17	5.33				0.33			
新宿区	0.43		0.43	3.00				0.14			0.14
文京				7.00							
台東			0.50	14.75				0.75			
墨田区				6.60				0.40			
江東区			0.22	9.44	0.11			0.22			
品川区		0.13		5.00				0.25			
目黒区			0.80	7.80							
大田区	0.08	0.15	0.08	14.15	0.08	0.15		0.23	0.08		
世田谷		0.06	0.56	10.13	0.06		0.06	0.25			
渋谷区	5.75			2.75				0.75			
中野区			0.50	9.33		0.17		0.50			
杉並	0.09		0.27	9.64	0.18			0.09		0.09	0.09
池袋				5.40				0.20	0.20		
北区	0.14	0.14	0.29	8.29	0.14			0.29			
荒川区	0.25		0.75	14.00				1.00		0.25	
板橋区				5.90	0.20			0.30			
練馬区			0.15	7.23	0.15			0.54		0.08	
足立		0.08		6.15				0.15			
葛飾区				3.50	0.13			0.13			
江戸川	0.92		0.67	9.42	0.08			0.17			
八王子市			0.18	21.00	0.18			0.18			
町田市			0.50	7.38		0.13	0.13				
西多摩		0.38		3.88	0.13			0.25			
南多摩			0.11	6.78	0.22			0.11		0.11	
多摩立川	0.07	0.07	0.43	7.57	0.36	0.43				0.07	
多摩府中	0.11	0.05	0.11	9.79		0.05		0.21		0.21	
多摩小平	0.14	0.57	0.29	14.07		0.07		0.36	0.07	0.14	0.07
島しょ											
東京都	0.18	0.08	0.24	8.73	0.08	0.05	0.01	0.24	0.01	0.04	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		1.75				0.50				
中央区		5.80		2.00						
みなと		9.11					1.00			
新宿区	0.14	2.18								
文京		9.43								
台東		10.57								
墨田区		7.13								2.00
江東区		11.93								
品川区		8.83								
目黒区		11.75								
大田区		5.33								
世田谷		9.08		0.50						1.00
渋谷区		8.43								1.00
中野区		9.80								
杉並		5.71								
池袋		6.38								
北区		5.36								
荒川区		23.29								
板橋区		7.63		0.50						1.00
練馬区		8.05								
足立		11.63								
葛飾区		6.69								
江戸川	0.08	15.84								
八王子市		20.06								
町田市		16.23								
西多摩		3.50								
南多摩		7.86								
多摩立川		9.00								
多摩府中	0.11	12.59		0.33						2.00
多摩小平		12.91								0.50
島しょ										

東京都	0.02	9.81		0.13		0.04	0.04			0.52
-----	------	------	--	------	--	------	------	--	--	------

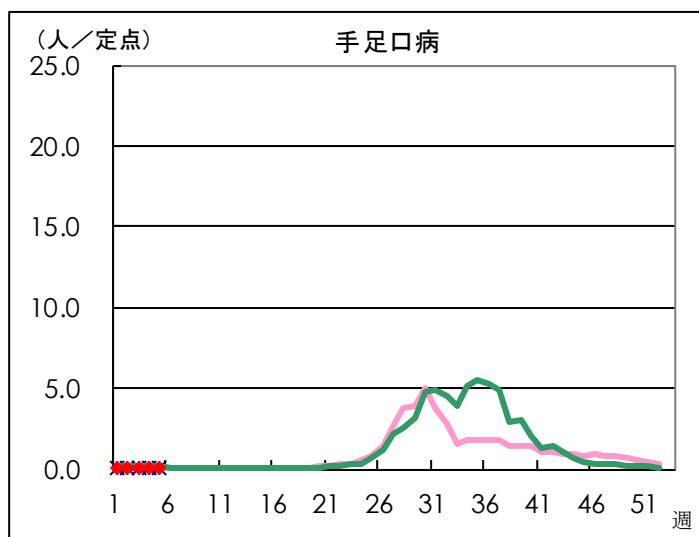
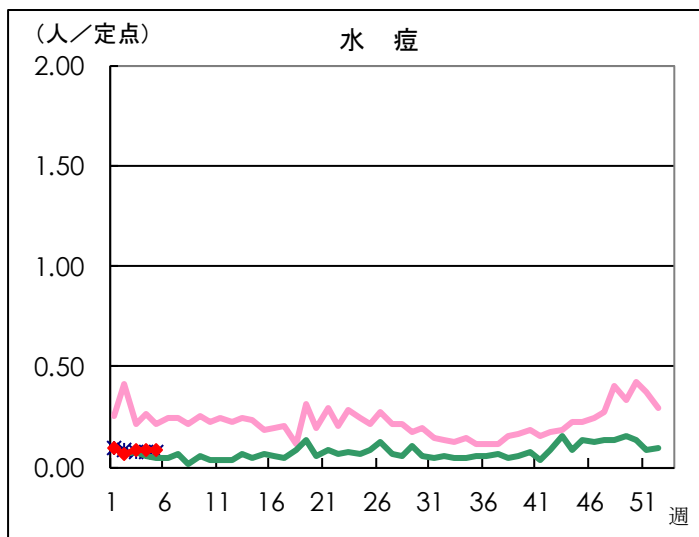
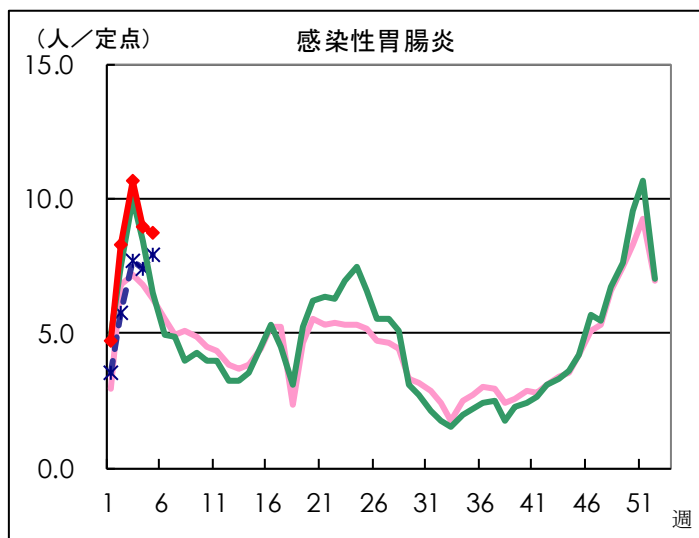
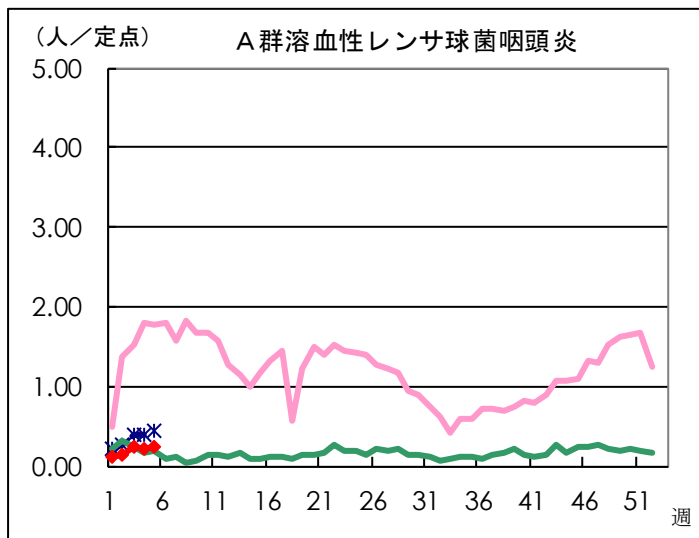
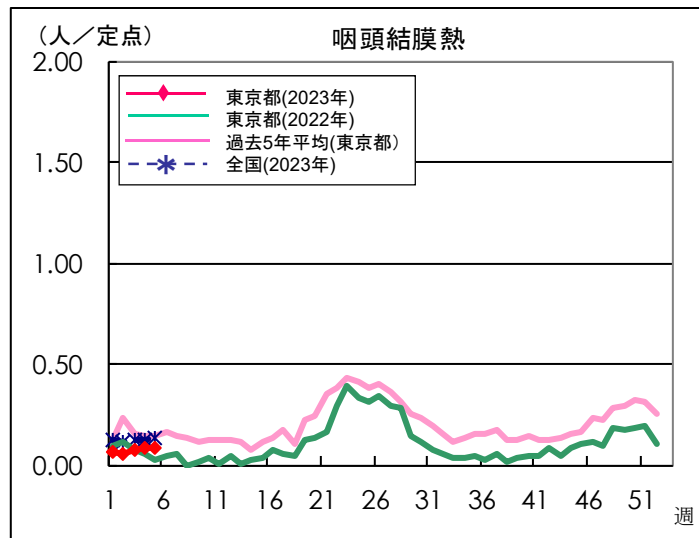
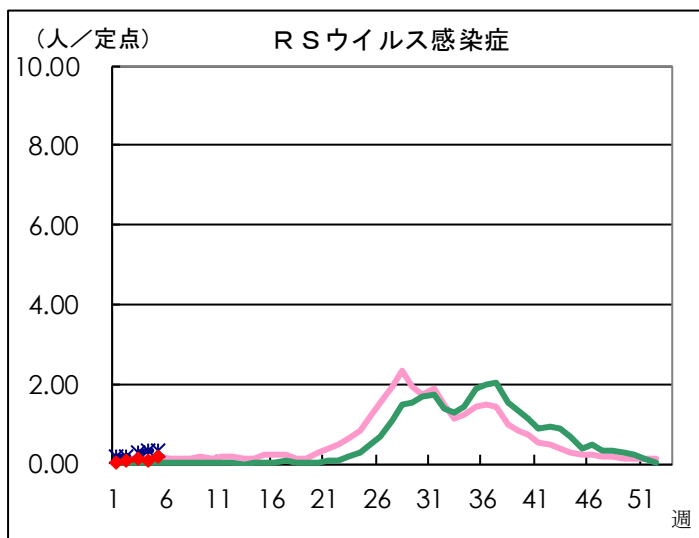
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2023年5週

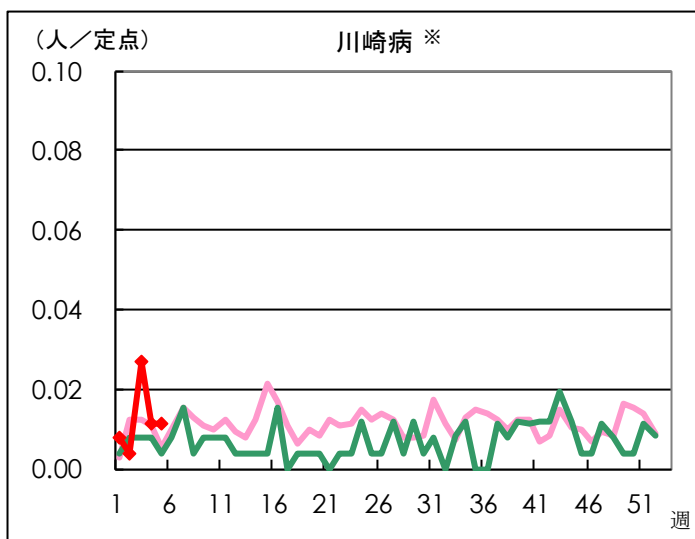
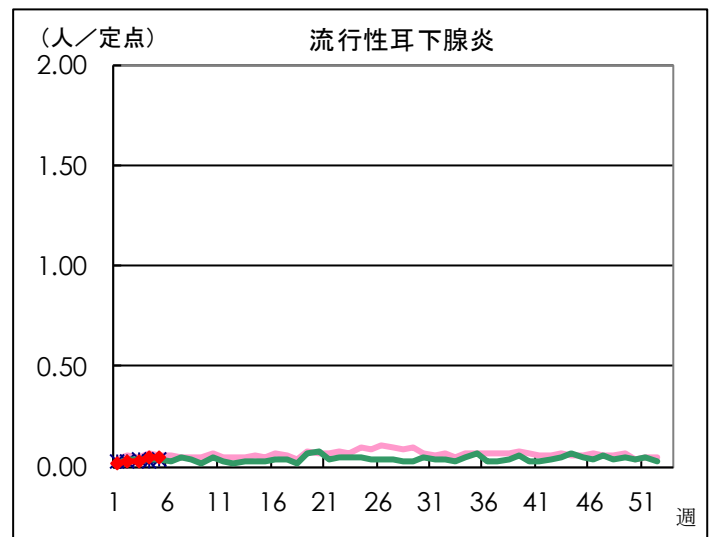
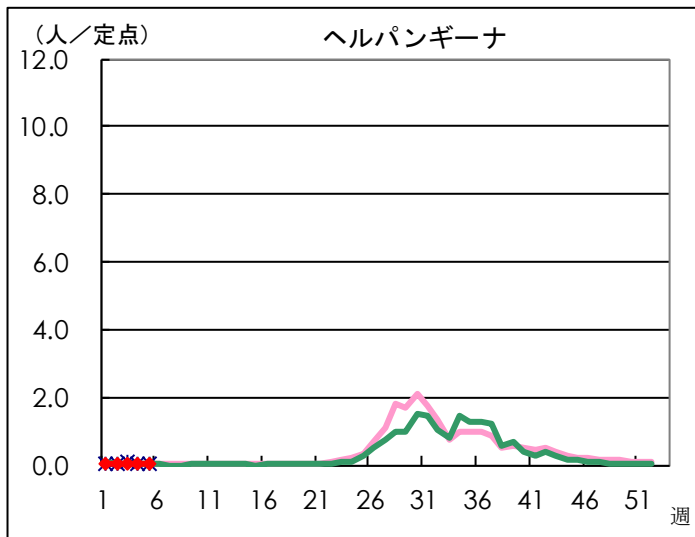
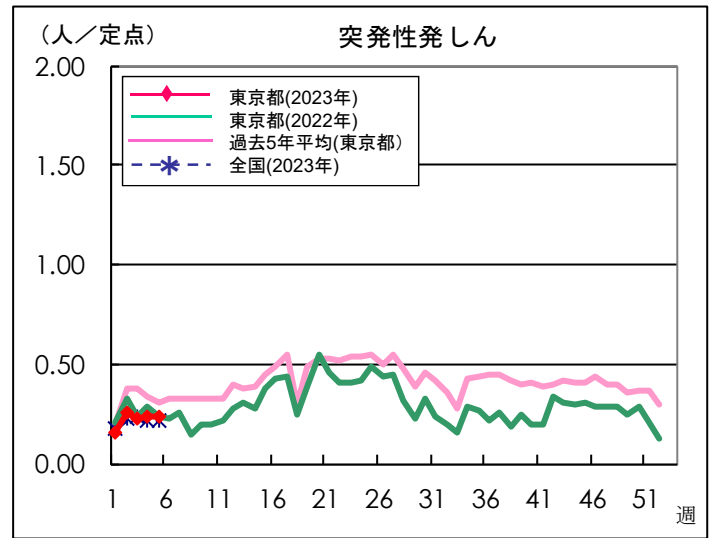
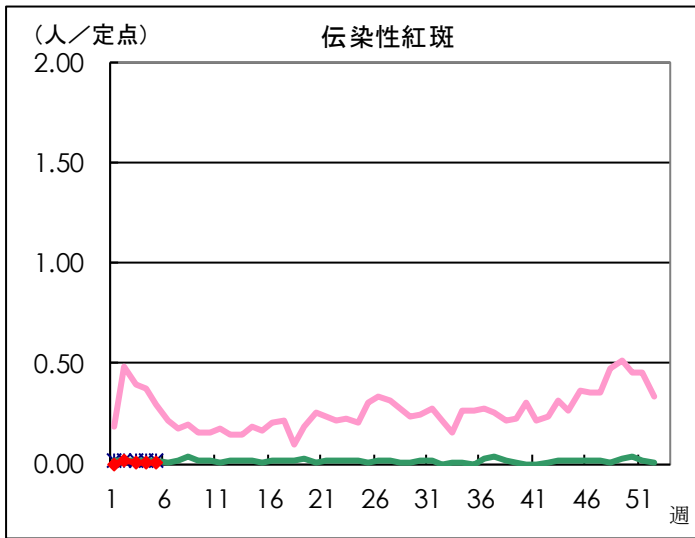
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				9							
中央区				18							
みなと		3	1	32				2			
新宿区	3		3	21				1			1
文京				28							
台東			2	59				3			
墨田区				33				2			
江東区			2	85	1			2			
品川区		1		40				2			
目黒区			4	39							
大田区	1	2	1	184	1	2		3	1		
世田谷		1	9	162	1		1	4			
渋谷区	23			11				3			
中野区			3	56		1		3			
杉並	1		3	106	2			1		1	1
池袋				27				1	1		
北区	1	1	2	58	1			2			
荒川区	1		3	56				4		1	
板橋区				59	2			3			
練馬区			2	94	2			7		1	
足立		1		80				2			
葛飾区				28	1			1			
江戸川	11		8	113	1			2			
八王子市			2	231	2			2			
町田市			4	59		1	1				
西多摩		3		31	1			2			
南多摩			1	61	2			1		1	
多摩立川	1	1	6	106	5	6				1	
多摩府中	2	1	2	186		1		4		4	
多摩小平	2	8	4	197		1		5	1	2	1
島しょ											
東京都合計	46	22	62	2,269	22	12	2	62	3	11	3

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		7				1				
中央区		29		2						
みなと		82					1			
新宿区	1	24								
文京		66								
台東		74								
墨田区		57								2
江東区		167								
品川区		106								
目黒区		94								
大田区		112								
世田谷		227		1						2
渋谷区		59								1
中野区		98								
杉並		97								
池袋		51								
北区		59								
荒川区		163								
板橋区		122		1						1
練馬区		161								
足立		221								
葛飾区		87								
江戸川	1	301								
八王子市		361								
町田市		211								
西多摩		49								
南多摩		110								
多摩立川		189								
多摩府中	2	365		1						6
多摩小平		284								1
島しょ										
東京都合計	4	4,033		5		1	1			13

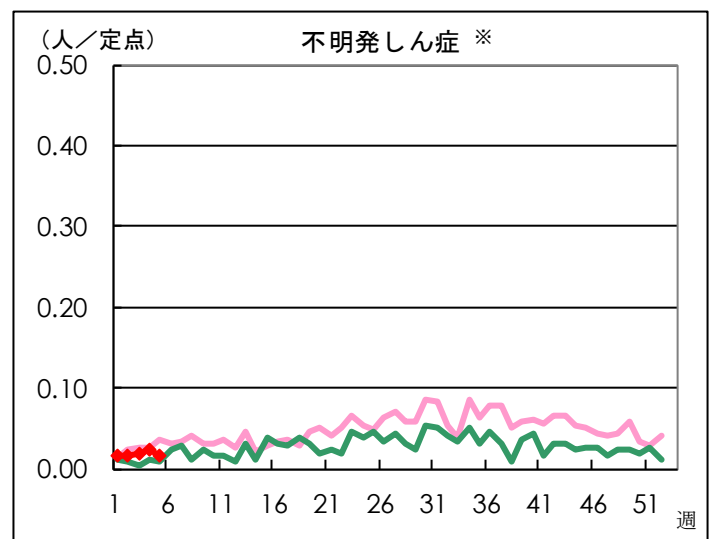
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2023年5週 現在)

◆ 小児科定点



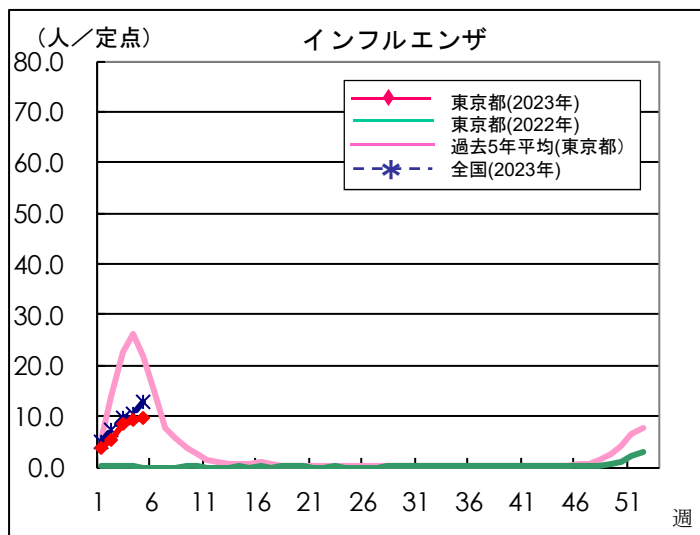


※ 東京都独自対象疾患

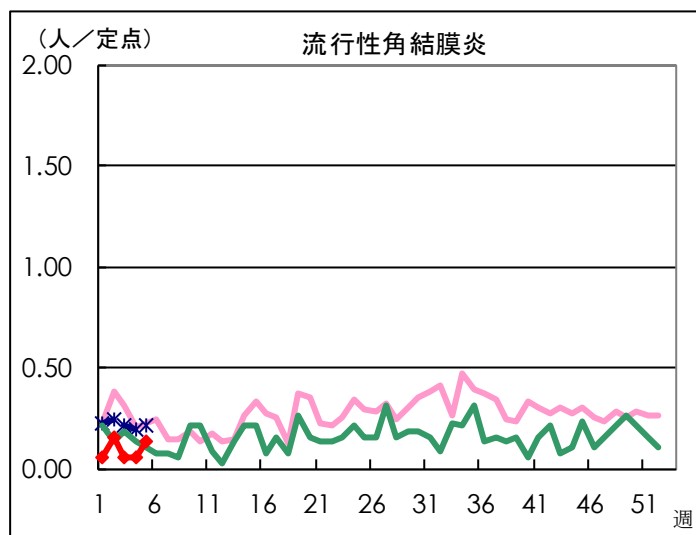
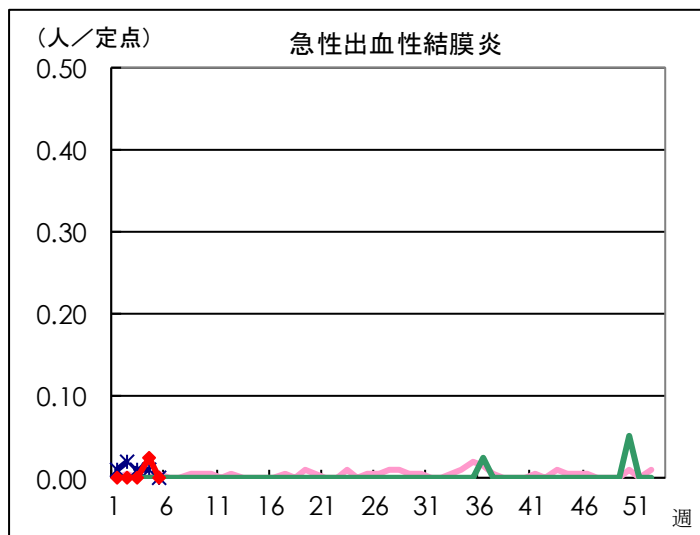


※ 東京都独自対象疾患

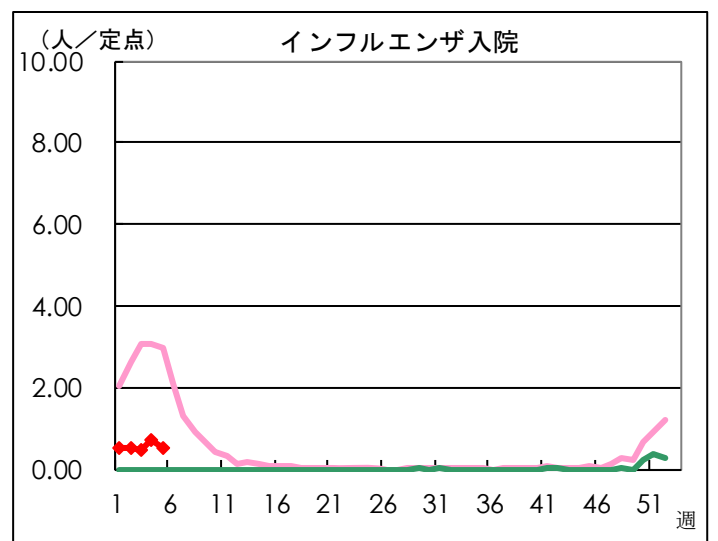
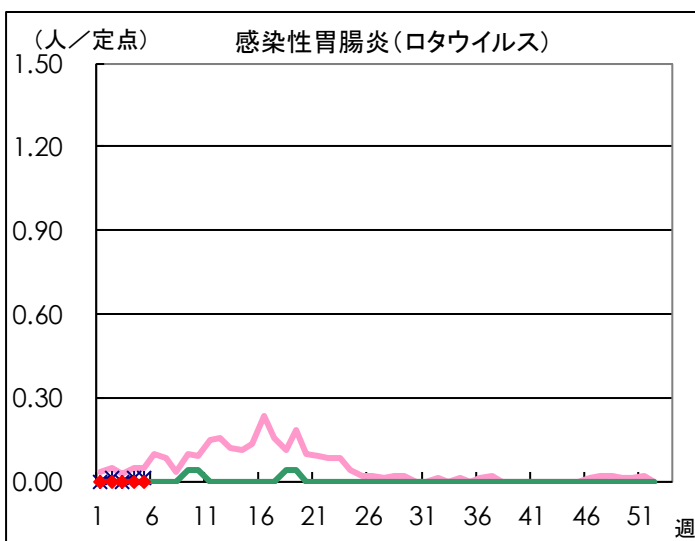
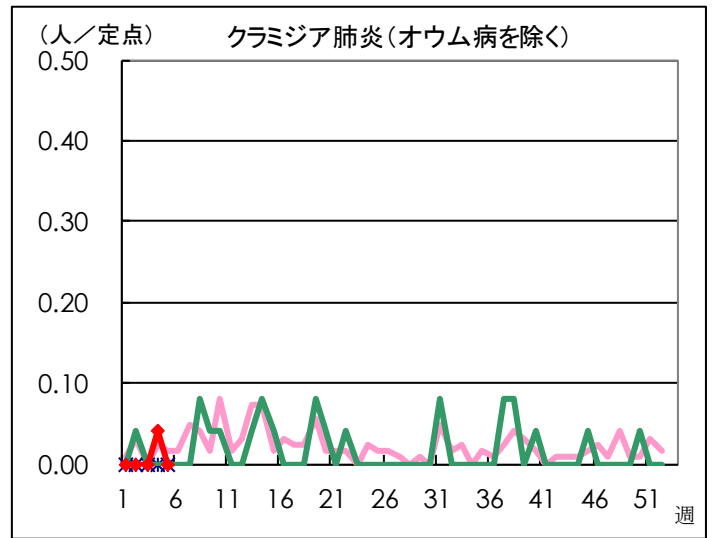
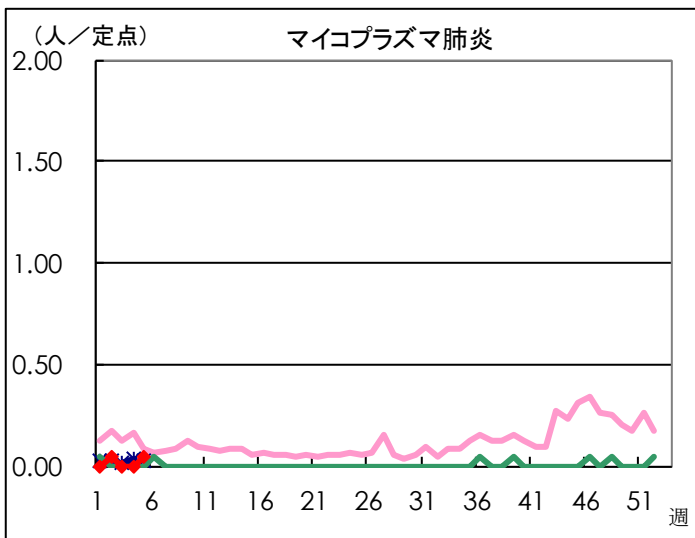
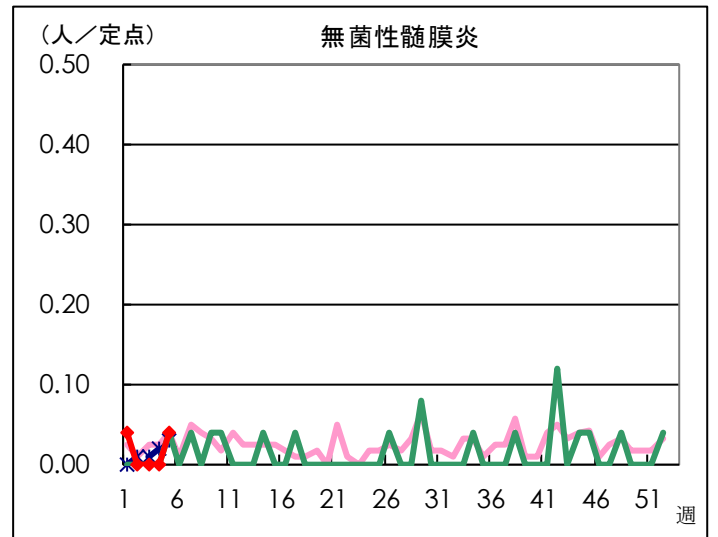
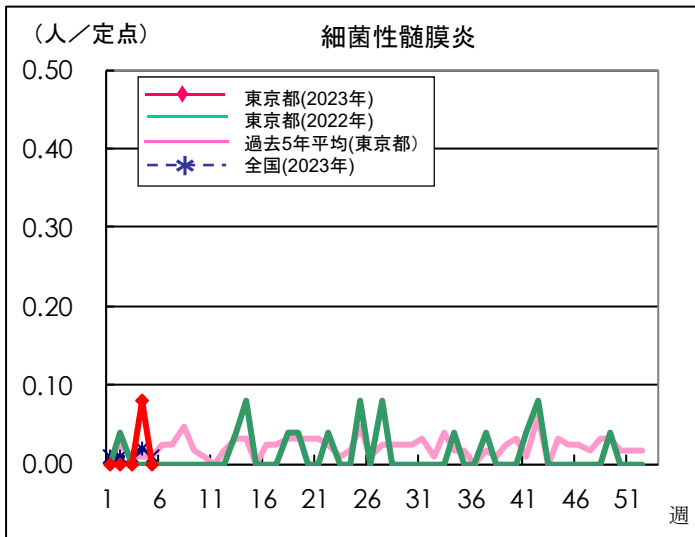
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
1/14	インフルエンザ	12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型※ SARS-CoV-2
1/18	インフルエンザ様疾患	86	咽頭拭い液	SARS-CoV-2

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2023年3週		4	1	
2022-2023年 シーズン累計*	2	34	1	

* 2022-2023年シーズンの開始は第36週(2022年9月5日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2022年					2023年		
	48週	49週	50週	51週	52週	01週	02週	03週
アデノウイルス								
コクサッキーウイルスA群			1					
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	1			1				
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス	1		1					
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09						1	1	
インフルエンザウイルスAH3亜型	2		4	9	1	5	7	4
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								1
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス								2
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1					
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型								
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2022年48週～2023年03週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
搬入検体数	2	1	1			1				1		1	29	10							
アデノウイルス																					
コクサッキーウイルスA群						1															
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス													1	1							
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス																					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型																					
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス	2																				
ノロウイルス																					
ロタウイルス																					
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1pdm09													2								
インフルエンザウイルスAH3亜型													26	6							
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													1								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
その他のウイルス													1	1							
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型																					
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

<感染症豆知識>

小児の原因不明の重症肝炎について

2022年4月5日、スコットランドから原因不明の小児重症急性肝炎のアウトブレイクがWHOに報告され、4月8日までに英国で10歳以下の子ども74例の発生が判明した。患者は元来元気な児で、黄疸、嘔吐、下痢、腹痛、倦怠感があり、6例が肝移植を受けたが死亡例はなかった。英国での急速な感染拡大、アデノウイルス高頻度検出、数例にSARS-CoV-2との併感染を認め、WHOは4月15日より世界規模の調査を開始した。

暫定症例定義は、「確定例」（現時点ではない）、「可能性例」（16歳以下の子どもで、肝炎ウイルスA~E非関与の急性肝炎を呈する者）、「疫学的関連例」（年齢不詳で可能性例の濃厚接触者であり、肝炎ウイルスA~E非関与の急性肝炎を呈する者）とされている。

WHOには、2022年7月8日までに35カ国から1,010例の可能性例が報告された。欧州と南北アメリカが91%を占め、国別では米国334例、英国272例、メキシコ69例、日本67例。肝移植46例(5%)、死亡22例(2%)であった。病原体検索ではアデノウイルスが英国65%(142/216)と最多で、そのうち41型が77%(27/35)。新型コロナウイルスは英国17%(34/196)、米国と日本は8%(15/197, 5/59)。疫学的関連例は2例報告された。

日本では2022年10月20日までに可能性例が112例報告され、肝移植1例、死亡0例。アデノウイルスは12%(13/108例、41型は1例)、新型コロナウイルスは8%(9/107)検出された。病原体、発症時期、地域性に特定の傾向はなかった。

現時点では病因不明であるが、仮説として①新型コロナ感染対策で子どもの通年流行のアデノウイルス感染曝露がなく、初感染時のアデノウイルス感受性の増加やアデノ随伴ウイルス2の関与、②新型コロナウイルスとアデノウイルスの複合要因による自己免疫反応亢進や小児多系統炎症性症候群(MIS-C)等が挙げられている。

本疾患は世界的に終息傾向にあるが、WHOは昨年7月から2022年の症例を過去5年間の症例と比較し、原因究明につながる世界規模のサーベイランスを行っている。

(文責 くろさわ子ども&内科クリニック(東京小児科医会) 黒澤サト子)